

て眠らせて欲しい。このままでは父のよいところを思い出さずに亡くなった時に「やれやれ」と思うのではないかと思う。」と言う言葉も聞かれた。【ケアの実際】私たちは、Tさんの言葉から、自律存在を失ったことに対するスピリチュアルペインの表出と判断。繰り返しカンファレンスをおこない、Tさんのスピリチュアルペインを傾聴して、受け止めると共に、家族の身体的・精神的疲労を考慮したうえで、家族へのケアもおこなった。【結果と考察】Tさんの苦痛を、セデーションという方法を選択せず、家族の理解も得て、生きる意味の充実・意味ある生への援助ができた。

4. がん患者への告知の現状

津久井利恵, 田中 俊行, 岡野 幸子
今野 美佳, 土岐さやか, 森田 祥子
小保方 馨, 土屋 道代, 西郷 純子
阿部 毅彦

(前橋赤十字病院 かんわ支援チーム)

がん患者に対する告知の現状を知るため、平成17年在籍中の医師68名を対象に、アンケート調査をした。【結果】全員の医師(100%)が告知は必要と考えていた。実際がん患者を受け持った場合、告知をするか?の問いに、「原則告知する」は21%にとどまり、「患者に聞いて告知をする」を含めても56%であった。がん患者を受け持つ医師に、実際どこまで告知をするかの問いに、原疾患まで(5%),転移まで(17%),予後まで(7%),患者に聞いて決める(12%),家族に聞いて決める(46%)であった。【まとめ】告知の理想と現実の差があること、また、告知は医療従事年数の少ない医師ほど家族重視する傾向にあった。今後、告知ができない理由を明らかにし、患者重視の告知が行われるよう啓蒙していくことが必要である。

5. 依頼内容から分析した当院における緩和ケアチームの役割について

本多 昌子, 原 敬, 藤平 和吉
都築はる奈, 宮前 香子, 新行内健一
小野 節子, 幾原真知子, 栗林由美子
鈴木真紀子, 川合 利恵

(利根中央病院 緩和ケアチーム)

【目的】緩和ケアチーム発足時から2006年5月までの過去2年6ヶ月間の総依頼件数延べ116件を対象に、当院の緩和ケアチームへ主治医から寄せられた依頼内容から、緩和ケアチームへの院内のニーズについて考察を試みた。【結果】依頼内容の内訳は、身体的問題のみが5件(4%),精神・心理的問題のみが40件(34%),身体的問題と精神・心理的問題の両方が67件(57%),その

他が4件(3%)で、精神・心理的ケアへの依頼が多かった。【考察】身体的問題に比べ精神・心理的問題への依頼が圧倒的に多かった理由は、院内疼痛治療マニュアルに沿った薬物療法だけでは対処できない苦しみである精神・心理的問題へアプローチする時間的余裕がない一般病棟医療者の実情とその苦しみがあるためと推察された。【結語】緩和ケアチームは、身体的問題への援助だけでなく精神・心理的問題について患者・家族への援助を行い、それを通じて一般病棟の医療者への援助も行っていくことが重要である。

セッション2

座長：大井寿美江(国立病院機構西群馬病院)

6. 癌性腹膜炎患者への低用量リドカインの持続静脈投与の有効性

田中 俊行, 津久井利恵, 岡野 幸子
上野 美紀, 新野見尚代, 久保ひかり
都丸 明子, 日向 節子, 小保方 馨
土屋 道代, 西郷 純子, 阿部 毅彦

(前橋赤十字病院 かんわ支援チーム)

癌性腹膜炎の患者に低用量リドカインを持続静脈投与し有効性を検討した。【方法】消化器癌26例と婦人科癌2例の計28例の患者を対象とした。麻薬、NSAIDs、補助剤等は併用し、リドカインは0.4または0.8mg/kg-hで使用した。痛みの評価はFaces Rating Scaleで行った。【結果】平均年齢は62歳、男性は54%であった。貧血(Hb 10.3±0.4g/dl)があり、低栄養状態(Alb 2.9±0.1g/dl)であったが、高Ca血症はなかった。リドカイン投与開始後、1.2±0.1日で腹部症状が改善し、痛みのスケールは2.7±0.2から0.6±0.2へ有意(p<0.001)に減少した。68%の患者の痛みが0となった。リドカイン血中濃度は、0.4と0.8mg/kg-hでそれぞれ、1.8±0.5と3.0±0.4μg/mlであった。副作用(情動失禁)は4例にみとめた。67%の患者で食事は投与前に比べ増加し、43%の患者はHPNを含めた退院が可能となった。在院中の投与日数は18±3日であった。【まとめ】低用量のリドカイン持続静脈投与は癌性腹膜炎の患者の腹部症状やADLの向上に有効な薬剤であることが示唆された。

7. リンパ浮腫治療における集中排液スケジュールの実際

内田真理子, 塩島 和美, 塩島 正之

(しおじまクリニック)

【はじめに】リンパ浮腫の治療において、フェルディ式複合的理学療法は現在のところ国際的に最も有効性が評